



# 福島国際研究教育機構の 主務大臣評価に係る参考データ集

令和 7 年 8 月  
復興庁

# 研究開発

○発表論文数を下記に示す。

## 発表論文数

	R5年度	R6年度
論文発表数	5報 第2分野：5報	34報 第1分野：5報 第2分野：15報 第3分野：4報 第4分野：1報 第5分野：9報

○地元での実証活動の例

- ・化学肥料・化学農薬に頼らない耕畜連携に資する技術の開発・実証の一環として、水稻の苗を縦横2方向ともに均等に植える方法（両正条植え）で実施し、従来の縦方向だけでなく、縦横両方向からの機械除草を可能にする技術の実証等を南相馬市、浪江町にて実施。  
(代表機関：東北大学)
- ・ネガティブエミッション農業の実現には、水稻によるCO<sub>2</sub>固定とともにCO<sub>2</sub>よりも温室効果が高いメタンの削減が鍵。水田からのメタン排出を抑える栽培条件の解析等を行い、富岡町のほ場で実証を実施。  
(代表機関：岡山大学)
- ・県内の様々な民有林地において、複数種のきのこ菌床露地栽培を実施し、幾つかの種では避難指示解除区域の未除染林地において、適切な管理によって出荷基準値を大きく下回るきのこができる実証。 (会津、中通り、浜通り各地域における民有林地 計15地点)  
(地域環境共創ユニット)

# 研究開発

○エフレイによる委託研究についての進捗評価結果

	順調に推移	条件付け／助言と提案	終了／完了	再評価
第1分野	4	2	3	
第2分野		1 1	1	4
第3分野		1 1		
第4分野	1	5		
第5分野		1 2		

# 研究開発環境の整備

○分野長・副分野長・ユニットリーダー数を下記に示す。

## 分野長・副分野長・ユニットリーダー数

	R5年度末	R6年度末
分野長	4名	4名
副分野長	5名	8名 放射線科学・創薬医療分野で2名、 原子力災害に関するデータや知見の集 積・発信分野で1名を任命
ユニットリーダー	1名	9名

# 研究開発に係る情報収集等

○市町村座談会の関係会議の回数、参加者数を下記に示す。

## 市町村座談会について

	R 5 年度	R 6 年度
市町村座談会の開催回数	15回	6回
参加者数	250名	1,181名

\* R 5 年度は浜通り地域等15市町村で開催。R 6 年度は、浜通り地域等15市町村においてテーマ別（ロボット分野と農林水産業分野）で深堀りを目指し2回開催するとともに、新たに中通りや会津地域において4回開催。

## R 5 年度の詳細

No.	実施日	開催場所
1	令和5年6月20日	いわき市
2	令和5年7月5日	南相馬市
3	令和5年7月27日	葛尾村
4	令和5年8月9日	浪江町
5	令和5年8月29日	田村市
6	令和5年9月29日	広野町
7	令和5年10月11日	富岡町
8	令和5年10月17日	川内村
9	令和5年10月23日	新地町
10	令和5年11月6日	飯館村
11	令和5年11月17日	楢葉町
12	令和5年12月4日	大熊町
13	令和5年12月19日	相馬市
14	令和6年1月18日	川俣村
15	令和6年1月30日	双葉町

## R 6 年度の詳細

No.	実施日	開催場所	人数(概算)
1	令和6年7月18日	郡山市	240名(現地195名、オンライン45名)
2	令和6年10月15日	福島市	275名(現地207名、オンライン68名)
3	令和6年11月18日	会津若松市	209名(現地146名、オンライン63名)
4	令和6年12月18日	南相馬市	108名(現地68名、オンライン40名)
5	令和7年2月5日	白河市	229名(現地184名、オンライン45名)
6	令和7年3月12日	浪江町	120名(現地75名、オンライン45名)

# 産業化

○産学官ネットワーク・セミナーの参加企業数、参加者数を下記に示す。

## 産学官ネットワーク・セミナーの参加企業数、参加者数

	R5年度	R6年度
参加企業数	76社	96社
参加者数	156名	188名

## R5年度の開催詳細

会場	日付	参加
TKPガーデンシティ仙台ホール (宮城県仙台市)	R5.10.12	76社 156名 (うち113名は会場参加)

## R6年度の開催詳細

会場	日付	参加
ホテルハマツ (福島県郡山市)	R7.3.17	96社 188名 (うち109名は会場参加)

# 人材育成

○講演の実施校数、回数、参加者数を下記に示す。

## 講演について

		R5年度	R6年度
トップセミナー	実施校数	県内14校	県内4校・県外2校
	回数	県内大学 5回 高専 2回 県内高校 9回 計16回	県内大学 3回 高専 2回 県外大学 2回 計 7回
	参加者数	約2,760名	約920名
出前授業等	実施校数	—	9校で出前授業
	回数	《その他》 各種依頼に基づく講演、出前講義等 6回	《出前授業》 地元の高校 9回 《その他》 各種依頼に基づく講演、出前講義等 8回
	参加者数	《その他》 約370名	《出前授業》 約360名 《その他》 約720名
合計		22回 約3,130名	24回 約2,000名

\*R5年度は主にトップセミナーにより大勢の学生・生徒を対象に一般的な内容を講演

R6年度は地元の高校で依頼に応じたテーマで比較的少人数を対象として出前授業を開始

# 人材育成【参考】

## R5年度トップセミナー開催詳細

No.	区分等	実施場所	日付	講師等	人数(概算)
1	県内・大学	福島大学	R5. 5. 17	山崎理事長	約 100
2	県内・大学	会津大学	R5. 5. 30	山崎理事長	約 240
3	県内・高校	相馬高校	R5. 6. 13	大和田執行役	約 160
4	県内・高校	会津学鳳高校・中学校	R5. 6. 30	大和田執行役	約 680
5	県内・高校	会津高校	R5. 7. 4	中西監事	約 240
6	県内・高校	小高産業技術高校	R5. 7. 13	森下監事	約 100
7	県内・高校	安積高校	R5. 8. 31	大和田執行役	約 40
8	県内・高校	ふたば未来学園高校	R5. 9. 12	山崎理事長	約 130
9	県内・高専	福島高専	R5. 9. 25	森下監事	約 70
10	県内・高専	福島高専	R5. 9. 26	山崎理事長	約 120
11	県内・大学	福島県立医科大学	R5. 10. 4	森下監事	約 180
12	県内・高校	福島高校	R5. 10. 4	大和田執行役	約 55
13	県内・大学	東日本国際大学	R5. 11. 7	山崎理事長	約 60
14	県内・大学	福島大学	R5. 11. 24	江村理事	約 170
15	県内・高校	磐城高校	R5. 12. 1		約 280
16	県内・高校	原町高校	R5. 12. 7		約 140
合計					約 2,760

## R6年度トップセミナー開催詳細

No.	区分等	実施場所	日付	講師等	人数(概算)
1	県内・大学	福島大学	R6. 5. 13	江村理事	約 100
2	県内・大学	会津大学	R6. 5. 28	山崎理事長	約 240
3	県内・大学	福島県立医科大学	R6. 6. 19	大和田執行役	約 140
4	県内・高専	福島高専	R6. 6. 10	森下監事	約 80
5	県内・高専	福島高専	R6. 6. 11	森下監事	約 120
6	県外・大学	山形大学	R6. 10. 17	山崎理事長	約 120
7	県外・大学	弘前大学	R7. 2. 18	山崎理事長	約 120
合計					約 920

## R6年度出前授業開催詳細

No.	実施場所	日付	講師等	人数(概算)	備考
1	相馬高校①	R6. 7. 2	荒尾副分野長	約 25	
2	相馬高校②	R6. 7. 2	金子純一 (北大准教授)	約 22	委託研究先代表者
3	原町高校	R6. 7. 5	大和田執行役	約 29	
4	磐城高校	R6. 8. 2	大西 UL	約 9	
5	小高産業技術高校①	R6. 11. 18	矢部分野長	約 20	
6	小高産業技術高校②	R7. 1. 22	武田伸一郎 (東大)	約 197	委託研究先代表者
7	会津学鳳高校	R7. 2. 18	矢部分野長	約 5	
8	安積黎明高校	R7. 2. 19	大和田執行役	約 42	
9	安積高校	R7. 3. 19	秋田副分野長	約 11	
合計				約 360	

## R6年度その他講演開催詳細

No.	実施場所	日付	講師等	人数(概算)	備考
1	東日本国際大学	—	山崎理事長 大和田執行役	約 一	e-learning 科目講義
2	NDF (Joshikai in Fukushima 2024)	R6. 7. 27 ~28	山崎理事長 小林研究員(※)	約 45	※委託先研究員
3	福島県立医科大学	R6. 7. 10	江村理事	約 133	(授業科目「医療入門 A」の被災地見学の一部として実施)
4	福島高専	R6. 11. 7	中西監事	約 40	キャリア教育
5	弘前大学	R6. 11. 19	西山部長	約 144	弘前大学 140 名 +青森県立田名部高校 4 人
6	東北大学	R6. 10. 24	大和田執行役	約 80	
7	獨協医科大学	R6. 12. 10	大和田執行役	約 130	
8	秋田大学	R7. 1. 22 ~23	大和田執行役	約 150	(1日目)研究者 約 20 名 (2日目)医学部 1 年生 約 130 名
合計					約 722

# 人材確保

○職種ごとの外国籍と女性の数を下記に示す。

## 研究職員の数

	R 6 年度当初	R 7 年度当初
研究者数	14名	64名
うち外国籍	1名	8名
うち女性	1名	11名

## RA等専門職員の数

	R 6 年度当初	R 7 年度当初
RA等専門支援人材数	2名	6名
うち外国籍	1名	1名
うち女性	1名	2名

## 事務職員の数

	R 6 年度当初	R 7 年度当初
事務職員数	65名	80名
うち外国籍	0名	0名
うち女性	14名	20名

# 運営の効率化

○MOU等新規締結数を下記に示す。

## MOU等新規締結数

	R 5 年度	R 6 年度
MOU等新規締結数	9件	10件 うち、海外 2 件

## R 5 年度MOU等新規締結数

No.	締結日	締結先
1	令和 5 年 4 月 1 日	福島高専
2	令和 5 年 4 月 5 日	福島県立医科大学
3	令和 5 年 4 月 15 日	いわき市
4	令和 5 年 5 月 17 日	福島大学
5	令和 5 年 5 月 29 日	浪江町
6	令和 5 年 5 月 30 日	会津大学
7	令和 5 年 9 月 1 日	南相馬市
8	令和 6 年 1 月 25 日	株式会社東邦銀行
9	令和 6 年 3 月 8 日	東北大学

## R 6 年度MOU等新規締結数

No.	締結日	締結先
1	令和 6 年 6 月 7 日	学校法人昌平鬱（東日本国際大学など）
2	令和 6 年 6 月 14 日	福島県（福島ロボットテストフィールドの統合に関して）
3	令和 6 年 6 月 14 日	福島県、福島イノベーション・ココスト構想推進機構
4	令和 6 年 7 月 8 日	福島県、JAEA、NIES（環境創造センターにおける連携協力に関して）
5	令和 6 年 7 月 23 日	量子科学技術研究開発機構
6	令和 6 年 10 月 3 日	米国パシフィック・ノースウェスト国立研究所（PNNL）
7	令和 7 年 2 月 4 日	東京海上日動火災保険株式会社
8	令和 7 年 2 月 27 日	東大カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU, WPI）
9	令和 7 年 3 月 4 日	英国原子力公社（UKAEA）
10	令和 7 年 3 月 27 日	筑波大学

# 広報関係

## 【ホームページへのアクセス数】

R6年度：年間489,915回（※約41,000回アクセス / 月）

※R7年4月にホームページのリニューアルを行い、同年度当初（4、5月）の  
アクセス数は、いずれもR6年度の月平均と比べ、11%以上増加した。

## 【SNSフォロワー数】（2025年7月31日現在）

- ・X（旧Twitter） : 593名
- ・Facebook : 323名
- ・LinkedIn : 50名
- ・YouTube : 158名（チャンネル登録者数）

## 【メルマガ発出宛先数】

昨年8月1日の1,061件から、本年7月1日で1,297件となり、22.2%増加した。